



ご利用にあたって

- 「安全情報」は医療・福祉関係の方に向けて発信したものです。一般の方に向けた内容ではございませんのでご注意ください。
- 内容は、いずれも発行日時点のものです。常に最新の情報をご確認ください。



浴室・トイレの鍵の開け方の周知徹底を ～異変があったときの対応を速やかに行うために～

※九州沖縄地協の医療安全委員会から提供された情報を一部改変したものです。なお、九州沖縄地協では、
独自にこの件について安全情報を発信しています。

- ◇トイレの中で急変し応答がなかったとき、鍵のあけ方がわからずに対応が遅れた事例が報告されました。
- ◇浴室や患者用トイレ・身障者用トイレでは いつでも急変の可能性があります。気がついた時、すみやかに鍵を開けて救出することが重要です。

- * 施設内すべての浴室・トイレのドア鍵について点検し、構造と開け方を把握しておきましょう。
 - * 緊急時に備え、外から解錠する方法を周知徹底することを呼びかけます。（場合によってはコインやはさみなど、代用品による開錠も必要です）
-
- ◇アコードィオンカーテンタイプなど、代用品では鍵をあけられない場合もあります。専用鍵の保管場所を明確にしておく必要があります。
 - ◇鍵穴のない、外からあけられない形の鍵もあります。緊急時の対応を明確にしておきましょう。取り替えの検討も必要です



鍵の代用品になるものの例



代用品の利用
コイン・はさみ

